
レター間でのコンポーネントの再利用

コンポーネントを設定するには、下記の役職のいずれかが必要です：

- 総合システム管理者
- レターアドミン

各レターには、ヘッダーやフッターなど、すべてのレターで使われる共通コンポーネントを含めることができます。これにより、共通コンポーネントを1か所で定義(および更新)することができます。たとえば、企業ロゴを含む、すべてのレターに共通のヘッダーを定義できます。将来、ロゴの書式設定(配置など)を「コンポーネント設定」ページで変更すると、その変更は、そのコンポーネントを使用するすべてのレターに自動的に適用されます。レターの設定全般については、[Alma レターの設定](#)を参照してください。

コンポーネントに加えられた変更はすべてのレターに影響します。したがって、保存する前に変更を注意深く確認することをお勧めします。

コンポーネントの設定ページへのアクセス

「コンポーネントの設定」ページで、レター間で共有されるテンプレートとその他のコンポーネントをカスタマイズできます(設定メニュー>一般>レター>コンポーネント設定)。レターと同様に、コンポーネントはラベル(静的テキストの文字列)とテンプレート(フォーマットおよび動的データ用のXSLスタイルシート)で構成されます。

コンポーネント設定

コンポーネントのラベルの設定

実際のXSLテンプレートを編集しなくても、コンポーネントラベルを使用してレターを編集できます。たとえば、レターに「お問い合わせ」ではなく「ライブラリへのお問い合わせ」と記載したい場合は、ラベルでそれを変更できます。

ラベルを更新する方法：

1. コンポーネントの設定ページで、コンポーネントの行アクションリストで編集を選択します。

2. ラベルボタンを選択します。コンポーネントにラベルがない場合、ラベルボタンが無効になります。

3. 編集するラベルのカスタマイズを選択します。

4. 必要に応じてラベルを更新します。次のオプションもあります。

- 。言語の**変更** - 別の言語が設定されている場合、**翻訳**フィールドが編集用に開きます。
- 。復元 - その行が**変更**された場合、**有効化**および**説明**のフィールドはデフォルトに復元されます。
- 。翻訳を復元 - 他の言語が設定されており、**翻訳ラベル**が**変更**された場合、フィールドはデフォルトに復元されま
す。

5. 完了したら、**保存**を選択します。

6. 有効列ののトグルを選択して、ラベルを有効または無効にできます。

コンポーネントテンプレートのカスタマイズ

コンポーネントをフォーマットし、レターに表示するフィールドとテキストを決定するために使われるテンプレート (XSLスタイルシート) を表示・編集できます。レターに表示されるラベルとデータ、およびレターの表示方法をカスタマイズして、テンプレートを設定します。さらに、XSL条件文を使用して、レターに表示される内容や、レターを送信するかどうかを決定できます。xsl条件の使用法の例については、[if条件を使用した文字設定の特定の機能に関するHow Toドキュメント](#)を参照してください。

コンポーネントのテンプレート (XSLスタイルシート) をカスタマイズするには：

1. コンポーネントの設定ページで、関連するコンポーネントの行アクション・メニューの**編集**を選択します。
2. 必要に応じて、XSL ペインの情報を編集します。

このページで使用可能なフィールドは、Almaによって生成されたXMLフィールドおよびコンポーネントに関連付けられたラベルにあります。

- 。コードの末尾4桁を出力するには、部分文字列と文字列の長さ機能を使用します：

```
<b>@@requested_for@@ :*****
<xsl:value-of select="substring (notification_data/user_for_printing/
identifiers/code_value/value,string-length(notification_data/user_for_printing/
identifiers/code_value/value) - 3)"/></b>
```

- 。下記の**抜粋**部分がSenderReceiver.xslファイル内のアドレス行に続いている場合、このテンプレートを使用するすべてのレターにユーザーの電話番号が含まれていることを確認できます。

```
<tr>
<td><xsl:value-of select="notification_data/user_for_printing/phone"/></td>
</tr>
```

- 。<html>スタイルシートの名称を出力で非表示のテキストにするには、タグの後に以下を追加します。

```
<html> <xsl:attribute name="data-filename"> <xsl:value-of
select="/notification_data/general_data/letter_type"/> </xsl:attribute>
```

出力には次のようなものが含まれます：

```
<html data-filename="FulLoanReceiptLetter"> ...
```

3. **Ctrl+Shift+f**を使用して、**Prettyprint** を実装することができます(XSLソースコードを**変換**して改行やインデントとともに提示することで、コードを読みやすくします)。
4. **下書きを保存** を選択して、カスタマイズを下書きとして保存します。下書きで行った**変更**は、**保存**を選択するまでコンポーネントに適用されません。下書きモードの間は、XSLペインに下書きウォーターマークが表示されます。いったん「**保存**」を選択すると、その**変更**はこのコンポーネントを使用するすべてのレターに適用されますので注意してください。下書きの**削除**を選択すると、下書きが消去され、最後に保存された XSL が表示されます。XSL を元の状態に復元するには、**復元** を 選択 します。下書きがアクティブな間は、コンポーネントの行アクションメニューで下書きの**編集** および **下書きの削除** オプションを使用できることに注意してください。
5. **変更**をプレビューするには、このコンポーネントを使用するレターを表示します。
6. コンポーネントの下書きに加えられた**変更**をプレビューする：
 - i. このコンポーネントを使用するレターに移動します。
 - ii. 次の例に示すように、レター内で関連する `<xsl:include href="" />`ステートメントに `_DRAFT` を追加して XSL を更新します。
`<xsl:include href="footer.xsl_DRAFT"/>`
 - iii. プレビューペインに下書きコンポーネント (この例では更新されたフッター)が表示され、**変更**を確認できるようになります。
 - iv. **変更**が完了したら、`include` ステートメントから `_DRAFT` 拡張子を削除します。
`<xsl:include href="footer.xsl"/>`
7. **保存** を選択してコンポーネントに**変更**を適用、すなわち、現在の XSL を更新でオーバーライドします。これにより、下書きの透かしも削除されます。これで、このコンポーネントを使用するすべてのレターに**変更**が適用されます。保存後もレターがプレビュー ウィンドウに残ることに注意してください。すべてのレターのリストに戻るには、**キャンセル**を選択します。

コンポーネントリスト

Almaで使用可能なコンポーネントのリストを下表で示します。

レターコンポーネント

レター	説明						
checksum_calc.xsl	内部用						
footer.xsl	すべてのレターメールのフッターで使用されるテキストを定義します。 一般 > 一般構成 > その他の設定 で以下を定義します： <table border="1"><thead><tr><th>パラメータの値</th><th>パラメータキー</th></tr></thead><tbody><tr><td>contact_us</td><td>email_contact_us</td></tr><tr><td>my_account</td><td>email_my_account</td></tr></tbody></table>	パラメータの値	パラメータキー	contact_us	email_contact_us	my_account	email_my_account
パラメータの値	パラメータキー						
contact_us	email_contact_us						
my_account	email_my_account						

レター	説明
header.xsl	すべてのレターEメールのヘッダで使われるテキストを定義します (貴機関のロゴ、レター名、日付など)。
mailReason.xsl	<p>ほとんどのレターEメールで使われる挨拶文を定義します (拝啓など)。ジョン・スミスという名前のユーザーについてジョン・スミス様と印刷するには：</p> <pre data-bbox="358 338 1507 699"> <xsl:template name="toWhomIsConcerned"> <table cellpadding="0" cellspacing="5" border="0"> <tr> <td> <xsl:for-each select="notification_data"> <h3>@@dear@@ &#160;<xsl:value-of select="receivers/receiver/user/first_name"/> &#160;<xsl:value-of select="receivers/receiver/user/last_name"/></h3> </xsl:for-each> </td> </tr> </table> </pre>
recordTitle.xsl	レターメールの書誌詳細に使用するテキストを定義します。
senderReceiver.xsl	<p>すべてのレターEメールのアドレス情報を定義します。このコンポーネントは<xsl:value-of select="notification_data/user_for_printing/name"/>を使用し、ユーザー名表示の設定に従って入力されます。ただし、user_for_printingには名前と優先名の値も含まれるため、別の方法で設定できます。たとえば、アクティビティレポートXMLのuser_for_printingから：</p> <pre data-bbox="358 989 1507 1503"> <first_name>Ford</first_name> <identifiers><code_value><code>Primary Identifier</code> <value>fprefect</value> </code_value> <code_value><code>BARCODE</code> <value>11223344</value> </code_value> </identifiers> <last_name>Prefect</last_name> <middle_name></middle_name> <name>Prefecta, Forda</name> <phone></phone> <postal_code></postal_code> <preferred_first_name>Forda</preferred_first_name> <preferred_last_name>Prefecta</preferred_last_name> <preferred_middle_name></preferred_middle_name> </pre>
SMSRecordTitle.xsl	SMSレターの書誌詳細に使用するテキストを定義します。
style.xslレター	すべてのレターEメールに使われるCSSを定義します。